

# 目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	神学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 教育目標に基づいたディプロマ・ポリシーを策定（設定）する。	→ディプロマ・ポリシーの明示・公開（2011年度までにWEB等の広報媒体、履修指導への反映〔心得に掲載〕）。	B	A	A	A	/
2. ディプロマ・ポリシーに基づいたカリキュラム・ポリシーを策定（設定）する。	→カリキュラム・ポリシーの明示・公開（2012年度までにWEB等の広報媒体、履修指導への反映〔心得に掲載〕）。	C	B	A	A	/
3. ディプロマ・ポリシー、カリキュラムポリシーを踏まえて「履修モデル」を学生へ提示し、検証する。	→「履修モデル」の提示・公開と検証（2012年度までにWEB等の広報媒体、履修指導への反映〔心得に掲載〕）。	B	B	A	A	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

### 《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	ディプロマ・ポリシーは、学部WEBサイト上に公開している（2010年度に設定・公開）。また毎年度、学生へ配付する『履修の手引き』にも掲載し、履修指導に活用している。いずれの掲載もカリキュラム・ポリシーとの関連性に留意した明示方法としている。
目標2	カリキュラム・ポリシーは、学部WEBサイト上に公開している（2010年度に設定・公開）。また毎年度、学生へ配付する『履修の手引き』にも掲載し、履修指導に活用している。いずれの掲載もディプロマ・ポリシーとの関連性に留意した明示方法とするとともに、カリキュラム・マップと併せて教員のシラバス作成の際にも参考としている。
目標3	履修コース別に「履修モデル」を作成して提示するとともに、補足資料として専門領域別に「履修が望ましい科目」を作成、各年次・各学期に例えば何を履修するのが望ましいか、の指針としている。それらは学部WEBサイトおよび『履修の手引』にて公開し、履修指導に活用している。2012年度には理念・目的に基づく専門領域を検証する過程において「履修モデル」の内容も併せて再検討し、新しい「履修モデル」を学部WEBサイトおよび『履修の手引（2013年度版）』にて公開した。
備考	